

ワークショップの流れ

1. これまでの振り返り
2. ゾーンプランニングについて
3. 実行委員会について
4. グループ分け・意見交換
5. 発表
6. 今後の予定について

2



これまでの振り返り

これまでのワークショップの意見等を受け、大庄西中学校跡地の配置案が決定しました。跡地を、どのように活用していくかこれから考えて行きます。

前回のワークショップでは皆さんから、公園でやりたいことについて、どのようにすれば実現できるのか、公園の利用方法でグループ分けし、考えていただきました。また、考えたことを絵にまとめてもらいました。公園の設備や、整備方法から考えたグループや、利用方法、ルールやイベントなどから考えたグループなど、様々な意見を共有していただきました。



大庄西中学校跡地に南の口公園がお引越します。

「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけるように、市民のみなさんと一緒につくっていくワークショップも第3回目となりました。公園や新施設で何かやってみたい、新しい出会いや発見のある場所にしたい、みんなが集まれるような場所にしたい、用事なくてもちょっと行ってみたいような場所にしたい、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていく場です。

第3回目は今までのワークショップで頂いたみなさんの意見をもとにゾーンプランニングを作成しました。新しくできる公園をイメージしながら、みなさんで意見交換を行いました。

1



番号順に読んでいってね。



発表

それぞれのグループで、ゾーンプランニングに対して、思ったことや考えたことを共有していただきました。

また、公園の実行委員会についても、参加したいかどうか、どのように運営していくかなどについて、意見交換していただきました。たくさんの方から、是非参加したいとの意見を頂けました。



4



次回のご案内

みんなで将来の公園の風景を
イメージしよう！

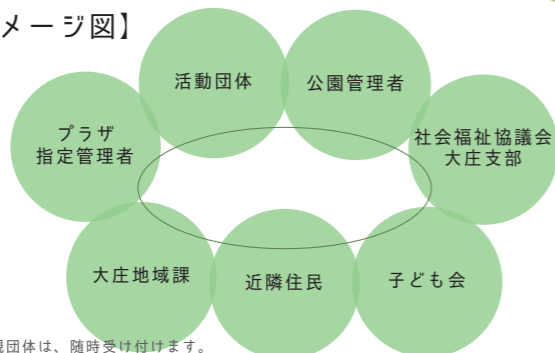
1.14 (土) 10:00-12:00

「(新)南の口公園で何しよう？」実行委員会

(新)南の口公園は、大庄地域の中心に位置しており、地域コミュニティの核として、少子高齢化といった地域の課題解決や賑わいづくりについて貢献していく、一つの拠点となります。誰にとっても楽しい公園ライフとなるように、まずは市民、事業者、行政などが一緒になって、(新)南の口公園の利活用を考えて行きます。公園を活用したイベントの実施や活動団体同士の連携、公園利用のスケジュールなどについて、この実行委員会で考えていきましょう。

また、公園利活用の幅を広げるための、公園独自のルール作りもここで考えていきましょう。

【イメージ図】



※新規団体は、随時受け付けます。

発行元・お問い合わせ先



尼崎市大庄地域課
公園計画・21世紀の森担当
(大島 3-9-25
大庄北生涯学習プラザ)
電話：06-6419-8221
FAX：06-6419-8226
Mail：ama-osyo-chiiki@amagasaki.hyogo.jp

今後の予定

第1回
9.23

やりたいコトを出そう！

第2回
10.29

やりたいコトを実現するための方法を考えよう！

第3回
11.27

公園内の配置(ゾーンニング)を検討しよう！

第4回
1.14

みんなで将来の公園の風景をイメージしよう！

第5回
2.18

(予定) みんなで育てる公園の運営ルールを考えよう！



3

📍 当日の意見交換の流れ

これまでのワークショップで頂いたみなさんの意見や、地域の小学生から頂いた意見をもとにゾンプランニングの作成を行いました。新しくできる公園をイメージしながら、より良い公園を目指して、意見交換を行いました。また、公園運営についても意見を頂きました。

01



4チームに分かれる

02



自己紹介をする

03



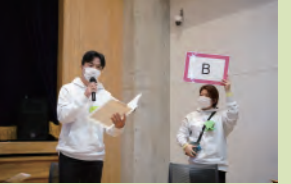
ゾンプランニングについて意見交換する

04



公園運営について意見交換する

05



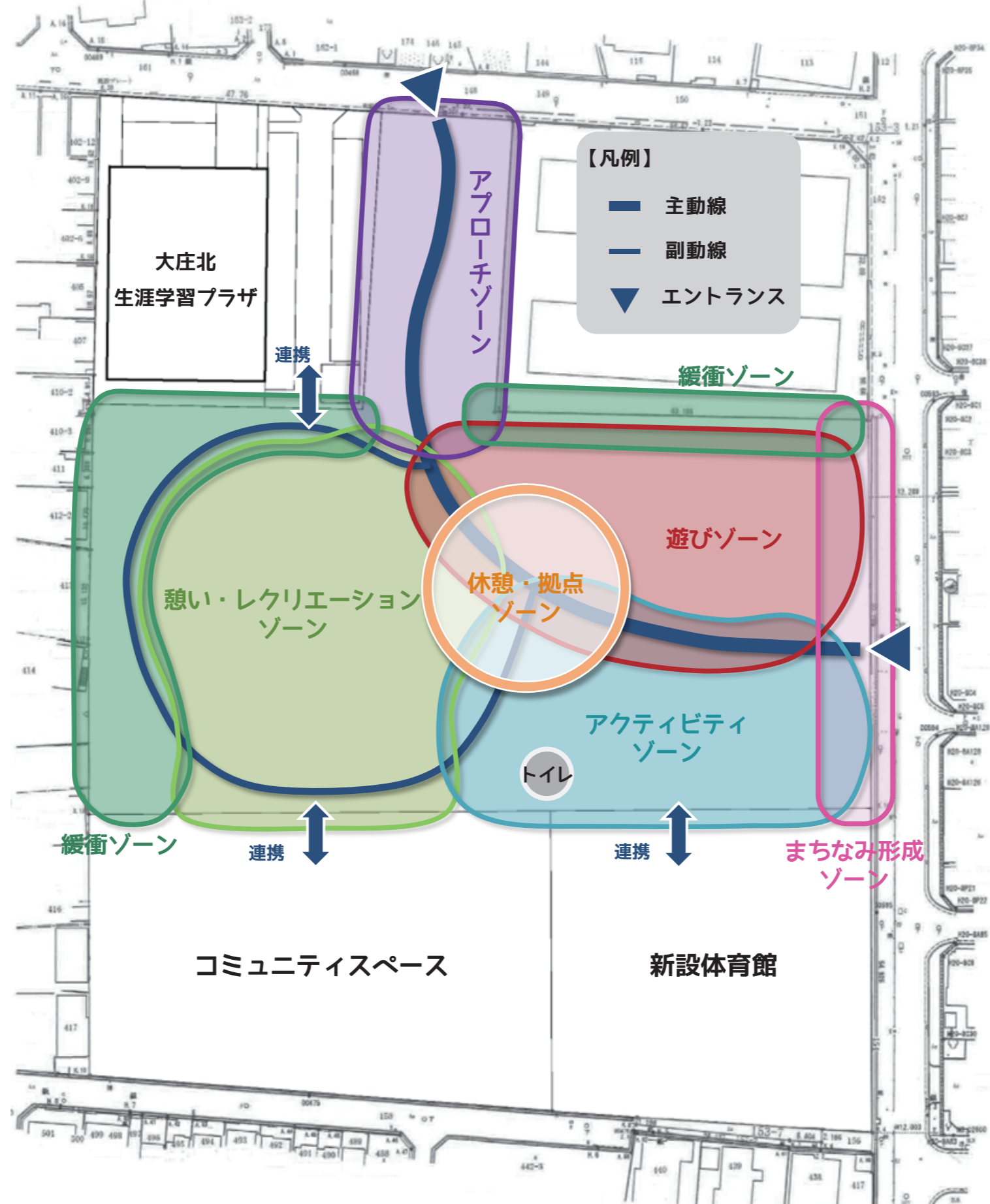
みんなで共有する

📍 ゾンプランニング

道路に隣接する北側と東側を公園のエントランスとし、二つのエントランスを結ぶ動線を主動線とします。この主動線沿いに来園者が利用するためのゾーンを設定します。

隣接する大庄北生涯学習プラザ、コミュニティスペース、新設体育館とは連携が図れるよう動線や空間のつながりを作ります。

また、災害時にも役立つ一定の機能（かまどベンチ等）を備えます。



アプローチゾーン

南北に細長い敷地形状を活かし、来園者を公園中央部に導くゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 駐輪スペース
- ・ 健康遊具
- ・ 修景植栽 等

憩い・レクリエーションゾーン

計画地のなかで、最も広くまとまったエリア。誰もが多目的に使えるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 広場（芝生、土のグラウンド等）
- ・ 運動、スポーツ
- ・ 地域のイベント開催 等

緩衝ゾーン

周辺の住宅地や施設等との緩衝のためのゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 中低木による植栽 等

遊びゾーン

道路に面し、公園内外の見通しが確保できるエリア。主に子どもの遊び場になるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 遊具類（タコ遊具、インクルーシブ遊具等）
- ・ 水の遊び場 等

アクティビティゾーン

新設体育館に面し、相互連携を図ることができるエリア。アクティブな活動のためのゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ バスケットコート
- ・ キッチンカー出店、マルシェ（イベント時） 等

休憩・拠点ゾーン

「憩い・レクリエーション」「遊び」「アクティビティ」の3つのゾーンを見渡せる中心的なエリア。休憩や公園内の滞留の場となるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ パーゴラ・ベンチ
- ・ 水飲み・手洗い 等

まちなみ形成ゾーン

道路に接する東側でまちなみ形成に貢献するゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 並木等による景観形成 等